

平成27(2015)年度 年間指導計画

教科・科目	芸術・美術Ⅱ	学年	2年	教科書	日本文教出版「高校美術2」
		単位数	2単位	副教材	

学習目標	美術Ⅰの学習を基礎として、更に芸術的な感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。				
学習方法	○表現では、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基にして主題を生成し、構想を練り、表現方法を工夫しながら創造的に表現する活動を行います。 ○鑑賞では、美術作品や他の生徒の作品などについて鑑賞したり批評したりするなどの活動を行います。 ○個々に制作したり鑑賞したりする活動だけでなく、他の生徒と話合ったり、自分の考えを発表したりする活動もを行います。				
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	a	美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。		
	b	発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つけ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。		
	c	創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。		
	d	鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。		

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
				a	b	c	d			
1	B鑑賞	美術Ⅱについて	鑑賞、調査、話し合い	○			○	a:美術の多様な表現に関心をもち、主体的に作品のよさや美しさを感じとり、美術文化などについて理解を深めようとしている。 d:美術作品などのよさ、美しさ、作者の意図と工夫を感じとり、美術文化についての理解を深めている。	・活動観察 ・ワークシート	
			A表現(1)絵画、B鑑賞	課題の把握と発想・構想	○	○			a:創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に個性豊かな表現に取り組もうとしている。 b:主題を効果的に表現するために表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求し表現している。 d:自分や友人の作品の良さや表現の工夫を感じ取り、多様な視点から創造的に味わっている。	・活動観察 ・ワークシート ・アイデアスケッチ
				制作	○	○	○			
1・2	A表現(2)デザイン、B鑑賞	シルクスクリーンによるTシャツ印刷	課題の把握と発想・構想	○	○			a:目的、機能、美しさなどを考えて表現することに関心をもち、主体的に主題を生成し、形や色彩などの造形要素の働きを考えながら創意工夫して構想を練ろうとしている。 b:デザインの目的や条件、機能や用途と、造形的な美しさとの調和を考え主題を生成している。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求し表現している。 d:自分や友人の作品の良さや独自の表現の工夫を味わうことができる。	・活動観察 ・ワークシート ・アイデアスケッチ	
			制作	○	○	○				・活動観察 ・作品
			鑑賞	○			○			・活動観察 ・ワークシート
2	A表現(1)彫刻、B鑑賞	木彫	課題の把握と発想・構想	○	○			a:美術の歴史に関心をもち、主体的に作品のよさや美しさを感じとり、伝統工芸について理解を深めようとして努力し、自分の作品に生かす努力をしている。 b:単純化された美しい形を追求し、創造的に表現を工夫している。 c:表現意図にあった効果的な技法を工夫し完成度の高い仕上げができる。 d:自分や友人の作品の良さや表現の工夫を味わうことができる。	・活動観察 ・ワークシート	
			制作	○	○	○				・活動観察 ・作品
			鑑賞	○			○			・活動観察 ・ワークシート
3	A表現(2)デザイン、B鑑賞	平面構成	課題の把握と発想・構想	○	○			a:目的、美しさなどを考えて表現することに関心をもち、主体的に主題を生成し、形や色彩などの造形要素の働きを考えながら創意工夫して構想を練ろうとしている。 b:デザインの目的や条件、造形的な美しさとの調和を考え主題を生成している。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求し表現している。 d:自分や友人の作品の良さや独自の表現の工夫を味わうことができる。	・活動観察 ・ワークシート ・アイデアスケッチ	
			制作	○	○	○				・活動観察 ・作品
			鑑賞	○			○			・活動観察 ・ワークシート

平成27(2015)年度 年間指導計画

教科・科目	芸術・美術Ⅲ	学年	3年	教科書	光村図書「美術3」
		単位数	2単位	副教材	

学習目標	美術Ⅱの学習を基礎として、更に芸術的な感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
学習方法	○表現では、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基にして主題を生成し、構想を練り、表現方法を工夫しながら創造的に表現する活動を行います。 ○鑑賞では、美術作品や他の生徒の作品などについて鑑賞したり批評したりするなどの活動を行います。 ○個々に制作したり鑑賞したりする活動だけでなく、他の生徒と話合ったり、自分の考えを発表したりする活動もを行います。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心を持ち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	
b	発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。		
c	創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。		
d	鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。		

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	B鑑賞	美術Ⅲについて	鑑賞、調査、話し合い	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、主体的に作品のよさや美しさを感じとり、美術文化などについて解を深めようとしている。 d:美術作品などのよさ、美しさ、作者の意図と工夫を感じとり、美術文化についての理解を深めている。	・活動観察 ・ワークシート
	A表現 (1)絵画・彫刻	木炭デッサン、油彩・アクリル画(風景)	課題の把握と発想・構想	○	○			a:(表現)技法や材料、用具の特性や効果を主体的に生かし、表現方法を創意工夫しながら主題を追求して表現しようとしている。表現することに関心を持ち、主体的に生成し、形体、色彩、構成などを創工夫して構想を練ろうとしている。	・活動観察 ・ワークシート ・アイデアスケッチ
	B鑑賞		制作	○	○	○		b:主題を効果的に表現するために表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求し表現している。 d:自分や友人の作品の良さや表現の工夫を味わうことができる。	・活動観察 ・作品 ・活動観察 ・ワークシート
2	A表現 (1)絵画・彫刻 (2)デザイン	選択課題 (人物画・木彫・ポスター制作)	課題の把握と発想・構想	○	○			a:(表現)感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、形体、色彩、構成などを創意工夫して構想を練ろうとしている。目的、機能、美しさなどを考えて表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、形や色彩などの造形要素の働きを考えながら創意工夫して構想を練ろうとしている。	・活動観察 ・ワークシート
	B鑑賞		制作	○	○	○		b:対象や自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成している。デザインの目的や条件、機能や用途と、造形的な美しさとの調和を考え、生活の中などに課題を発見し、主題を生成している。	・活動観察 ・作品
			鑑賞	○			○	c:効果的な表現方法を創意工夫し、目的や意図に基づいて、計画や手順を吟味し、制作の見通しをもって表現している。 d:自分や友人の作品の良さや表現の工夫を味わうことができる。	・活動観察 ・ワークシート
3	A表現 (1)絵画・彫刻 (2)デザイン	選択課題 (人物画・木彫・ポスター制作)	課題の把握と発想・構想	○	○			a:(表現)目的、機能、美しさなどを考えて表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、形や色彩などの造形要素の働きを考えながら創意工夫して構想を練ろうとしている。	・活動観察 ・ワークシート ・アイデアスケッチ
	B鑑賞		制作	○	○	○		b:デザインの目的や条件、機能や用途と、造形的な美しさとの調和を考え主題を生成している。	・活動観察 ・作品
			鑑賞	○			○	c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求し表現している。 d:自分や友人の作品の良さや独自の表現の工夫を味わうことができる。	・活動観察 ・ワークシート
	B鑑賞	プレゼンテーション、コンペティション	鑑賞、調査、話し合い	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、主体的に作品のよさや美しさを感じとり、美術文化などについて解を深めようとしている。 d:美術作品などのよさ、美しさ、作者の意図と工夫を感じとり、美術文化についての理解を深めている。	・活動観察 ・ワークシート

平成27 (2015) 年度 年間指導計画

教科・科目	芸術・美術表現	学年	3年	教科書	
		単位数	2単位	副教材	自主作成教材

学習目標
 個々の学習体験や将来の進路希望等に基づき個別に設定した課題に応じた主体的な美術活動の体験を通して、個性豊かで創造的な美術の能力と生涯にわたり美術を愛好し美を追求する心情を育てるとともに、美術文化を尊重する態度を養う。

学習方法
 素描、デザイン、絵画、木彫などの分野を中心に幅広い表現活動を通して、色彩の持つ表現力の豊かさ、生活におけるデザインの役割、絵画表現の多様性について学び、幅広い発想力を身に付け、感じたものを表現に結び付ける構想の能力を伸ばす。また、鑑賞活動を通して作品の良さに気づき、美術を愛好する態度を養う。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心を持ち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	
b	発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。		
c	創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。		
d	鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。		

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	A表現 (2)デザイン	色彩体系	色彩の体系について学び、明度、彩度、色相について理解する。	○	○			<ul style="list-style-type: none"> 目的、機能、美しさなどを考えて表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、形や色彩などの造形要素の働きを考えながら創意工夫して構想を練ろうとしている。 デザインの目的や条件、機能や用途と、造形的な美しさとの調和を考え主題を生成している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求し表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動観察 作品 ワークシート
		混色、対比、同化	混色を体験し、対比、同化現象の見える作品作りを通して色彩感覚を豊かにする。	○	○				
		デザイン技法	様々なデザイン技法を体験して感受性を豊かにするとともに、表現の可能性を広げる。	○		○			
	B鑑賞	鑑賞(1)	参考作品、友人の作品を鑑賞し、作品の良さに気付く。	○			○	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友人の作品の良さや独自の表現の工夫を味わうことができる。 	
2	A表現 (1)絵画・彫刻	クロッキー	クロッキーを通して瞬時に全体、ポーズの特徴を把握することを学ぶ。	○			○	<ul style="list-style-type: none"> 技法や材料、用具の特性や効果を主体的に生かし、表現方法を創意工夫しながら主題を追求して表現しようとしている。表現することに関心を持ち、主体的に生成し、形体、濃淡、構成などを創意工夫して構想を練ろうとしている。 主題を効果的に表現するために表現形式の特性を生かし、形体、濃淡、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求し表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動観察 作品 ワークシート
		木彫作品制作	日用品として求められる機能と木の持つ特性を考慮したデザインを工夫し、デザインの働きについて理解する。	○	○				
			使用目的のはっきりした作品を制作し、完成の喜びを味わう。	○			○		
	B鑑賞	鑑賞(2)	友人の作品を鑑賞し、その良さに気付く。	○			○	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友人の作品の良さや表現の工夫を味わうことができる。 	
3	A表現 (1)絵画・彫刻	絵画	スケッチや模写を通して、様々な絵画による表現の可能性や特徴について学ぶ。	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 目的、機能、美しさなどを考えて表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、形や色彩などの造形要素の働きを考えながら創意工夫して構想を練ろうとしている。 デザインの目的や条件、機能や用途と、造形的な美しさとの調和を考え主題を生成している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求し表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動観察 作品 ワークシート
		B鑑賞	鑑賞(3)	古今の参考作品に触れることで個々の作品の優れている点に学ぶ。	○				